



# 学校だより

令和3年4月30日(金)

5月号 No.2

横浜市立大豆戸小学校

TEL543-7911

## コロナ禍2年目の学校生活

副校長 萩原 英里

暖かい日差しと心地よい風を感じる季節になりました。校庭の木々も青々と生い茂っています。先日は、授業参観、懇談会にたくさんの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。昨年是一度も行うことができなかった授業参観では、子ども達の成長した姿をみていただくことができたのではないのでしょうか。

この度、大豆戸小学校に着任いたしました、副校長の萩原英里（はぎわらえり）と申します。長い間、地域・保護者の方との大きな協働により創り上げられた大豆戸小学校に着任できたことを大変うれしく思っております。前任の吉田岳雄副校長に引き続き、よろしくお願いいたします。



昨年から続いているコロナ禍での学校生活。朝は、学年のフロアで先生からの検温から始まり、中休みは、軍手をしながらのドッチボールやおにごっこ。みんなが前を向いておしゃべりをしないで食べる黙食での給食。そして、マスク生活。(1年生は今までマスクをしない生活を送ってきた子どもが多いにも関わらず、きちんとマスクをしています。)子どもたちは、これが日常になって「当たり前」に学校生活を送っています。子どもたちの順応

性には、驚くばかりです。もしかしたら、いろいろ不自由に思っているのは大人だけなのかもしれません。そんな健気に学校生活を送っている子どもたちのためにも、感染予防対策を徹底しながら、最大限の教育活動を行っていきたいと思っています。

新学期が始まり一カ月が過ぎ、子どもたちの様子を見てみると、新しい学年で「がんばろう！」という期待と決意が感じられます。大人もそうですが、切り替えができる4月、子どもたちは新しい目標に向かって張り切ってスタートしました。ただ、張り切っている分、疲れも出るころです。明日からのお休みは、生活リズムを崩さないように、ゆっくり過ごしてください。